

3

カーボンマネジャー について

■「カーボンマネジャー」とは？

省エネや温室効果ガス (GHG) 排出削減・吸収を進めるための様々な取組に関する診断 (審査・検証等を含む)、実効力のあるアドバイス、及びその実践を行うことができる専門家です。

- ➔ 低炭素社会実現の中核として活躍できる人材です。
- ➔ 「省エネ分野」と「温室効果ガス排出削減・吸収分野」の双方の知識・技能を体系的に身につけ、両分野の橋渡しとなる新成長分野の人材です。



■いま、なぜ「カーボンマネジャー」が必要とされるのか？



我が国は世界最高水準の省エネ技術を持っていますが、エネルギー自給率が低いため、更なる省エネや再生可能エネルギーの導入等、エネルギーの総合的なマネジメントの推進が非常に重要です。



そのため、我が国全体でのエネルギー使用の合理化や、温室効果ガスの排出状況や削減ポテンシャルについて、きめ細かい把握と具体的な取組が必要です。



特に、東日本大震災以降、電力需給が逼迫している中で、節電対策と企業活動やライフスタイルの転換が課題となっているなど、省エネや再生可能エネルギーの導入拡大のための取組が進められています。



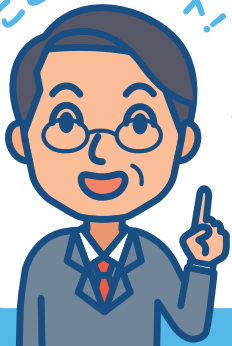
関連する法制度や対策の高度化に伴い、広範かつ専門的な知識や経験を持った人材が求められています。

「カーボンマネジャー」に認定されると

「カーボンマネジャー」として、より高いレベルの認定を受けることにより、省エネから炭素クレジット取引まで幅広い知識を持ち、エネルギーとCO₂の総合的なマネジメントができることを広くアピールできるようになります。



ここがポイント！



- カーボンマネジャーとは低炭素社会実現の中核として活躍できる人材のこと
- 認定されると、自らが持つエネルギーとCO₂の総合的なマネジメント能力を広くアピールできる

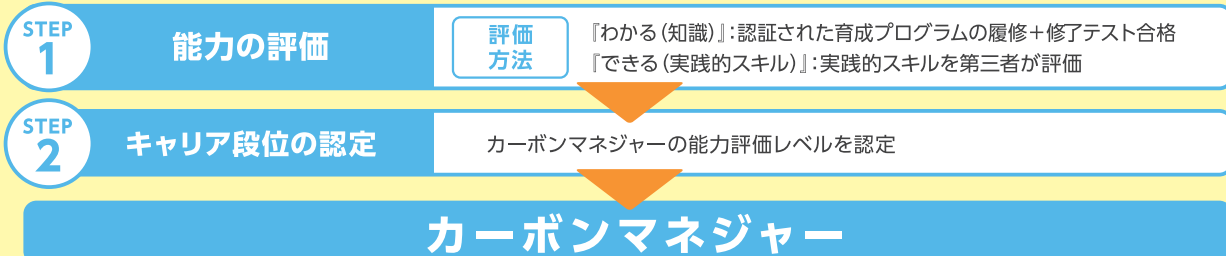
4

カーボンマネジャーになるためには？

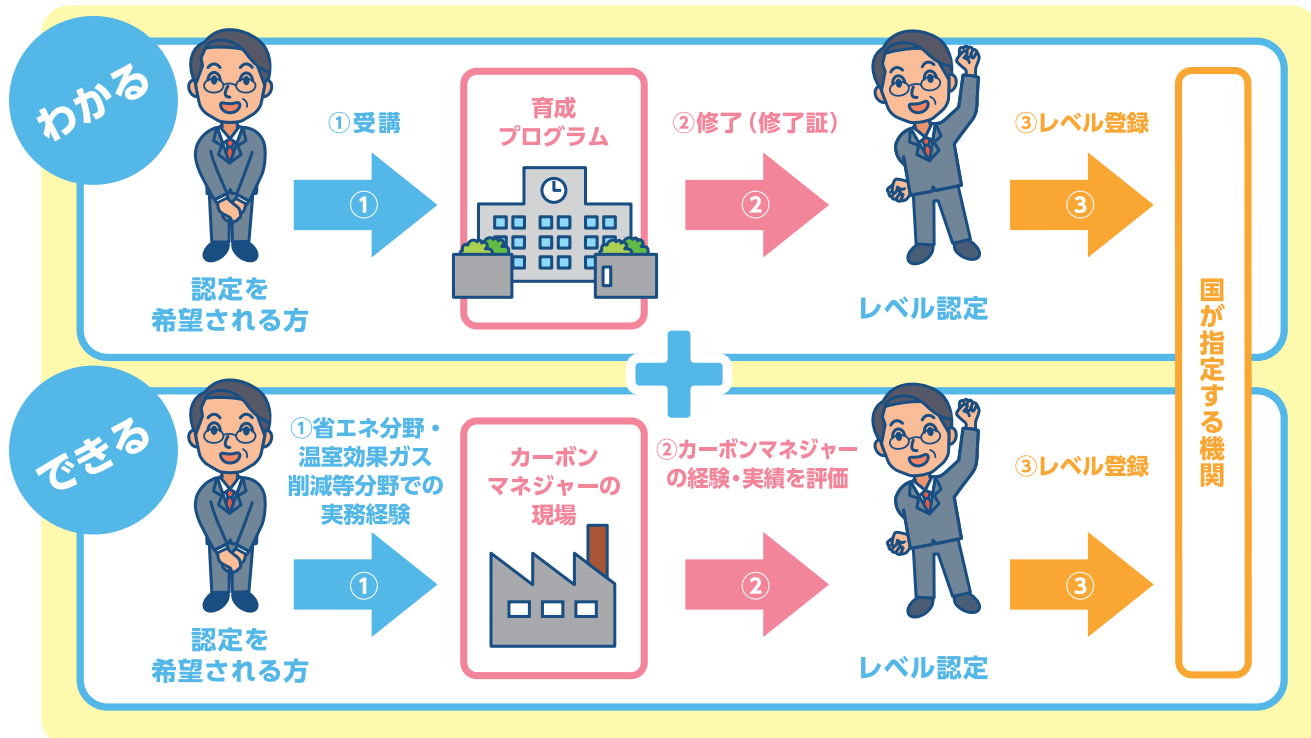
平成24年秋頃より、「カーボンマネジャー」のレベル認定が開始！

■「カーボンマネジャー」に認定されるために

「カーボンマネジャー」： **わかる(知識)** と **できる(実践的スキル)** を客観的に評価する仕組み



■キャリア段位制度の実施体制



ここがポイント！



- 平成24年度よりカーボンマネジャーのレベル認定制度がスタート
- 「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」を客観的に評価
- 育成プログラムの受講、修了試験の受験が必要